

個人投資家様向け会社説明会

日本ピラー工業株式会社

(証券コード：6490)

2024年3月13日

代表取締役社長
岩波 嘉信

1. **日本ピラーってどんな会社？**

2. 成長戦略（中期経営計画One2025）

3. 株主還元

創 業	1924年 (大正13年)
本社所在地	大阪市西区新町1-7-1
代 表 者	代表取締役社長 岩波嘉信
株 式	東京証券取引所 プライム市場 (証券コード : 6490)
資 本 金	49億66百万円
事 業 内 容	流体制御関連機器製品の製造販売
従 業 員 数 (2023年9月末現在)	単体 : 602名 連結 : 1,138名
売 上 高	487億2百万円 (連結 : 2023年3月期)



企業の歴史

1924

「日本ピラー工業所」設立



創業者
岩波嘉重

1967

三田工場竣工



2001

東証一部上場

2020

新・三田工場竣工



1948

株式会社に改組し、
「日本ピラー工業株式会社」を
設立

1989

福知山工場竣工



2004

九州工場竣工



2023

福知山第二工場竣工



1920

1940

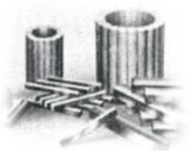
1980

2000

2020

1926

工業用パッキンの
本格的生産開始



1951

日本で初のメカニカルシー
ルを開発・生産開始



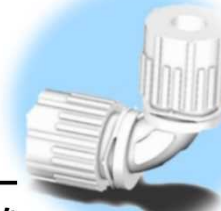
2002

画期的なシール機構を
実現した継手を開発・発売



2021

次世代の高性能新型
継手を開発・発売



1932

自動車・船舶用の
ガスケット生産開始



1984

半導体製造装置向け
ふっ素樹脂継手を発売



2012

半導体向けロータリー
ジョイントの生産開始



製品の歴史



社是

品質第一
和衷協力
一歩研究

経営理念

1. 住みよい地球と豊かな社会環境づくりに貢献します。
2. 独創的で高品質な製品を提供し、お客様にとってかけがえのない企業を目指します。
3. 法令・社会規範を遵守し、公正で健全な企業活動を行います。

社名の由来

- 1924年 船舶エンジンの蒸気漏れを防ぐ「ピラーパッキンNo.1」を開発
- 形状が柱状(=PILLAR)であったことから 日本ピラー工業と命名





連結売上高



487 億円

連結営業利益



138 億円

連結営業利益率



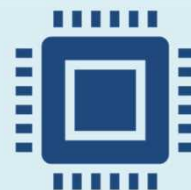
28.4%

2024年で創業



100 年

継手の世界シェア

世界 **No.1**
(半導体洗浄装置向け)

自己資本比率



81.9%

当社の強み 100年磨いた素材開発力

- ◆ 素材の研究を重ね 様々な市場に展開
- ◆ 時代の変化・ニーズに対応するため革新し続ける

ピラーNO.1



膨張黒鉛

炭化繊維

PTFE

PFA

Si/SiC



半導体



自動車



化学プラント

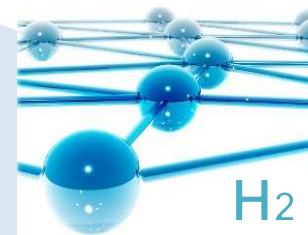


電力



建築

新規市場への拡大



H₂

水素燃料



電動自動車



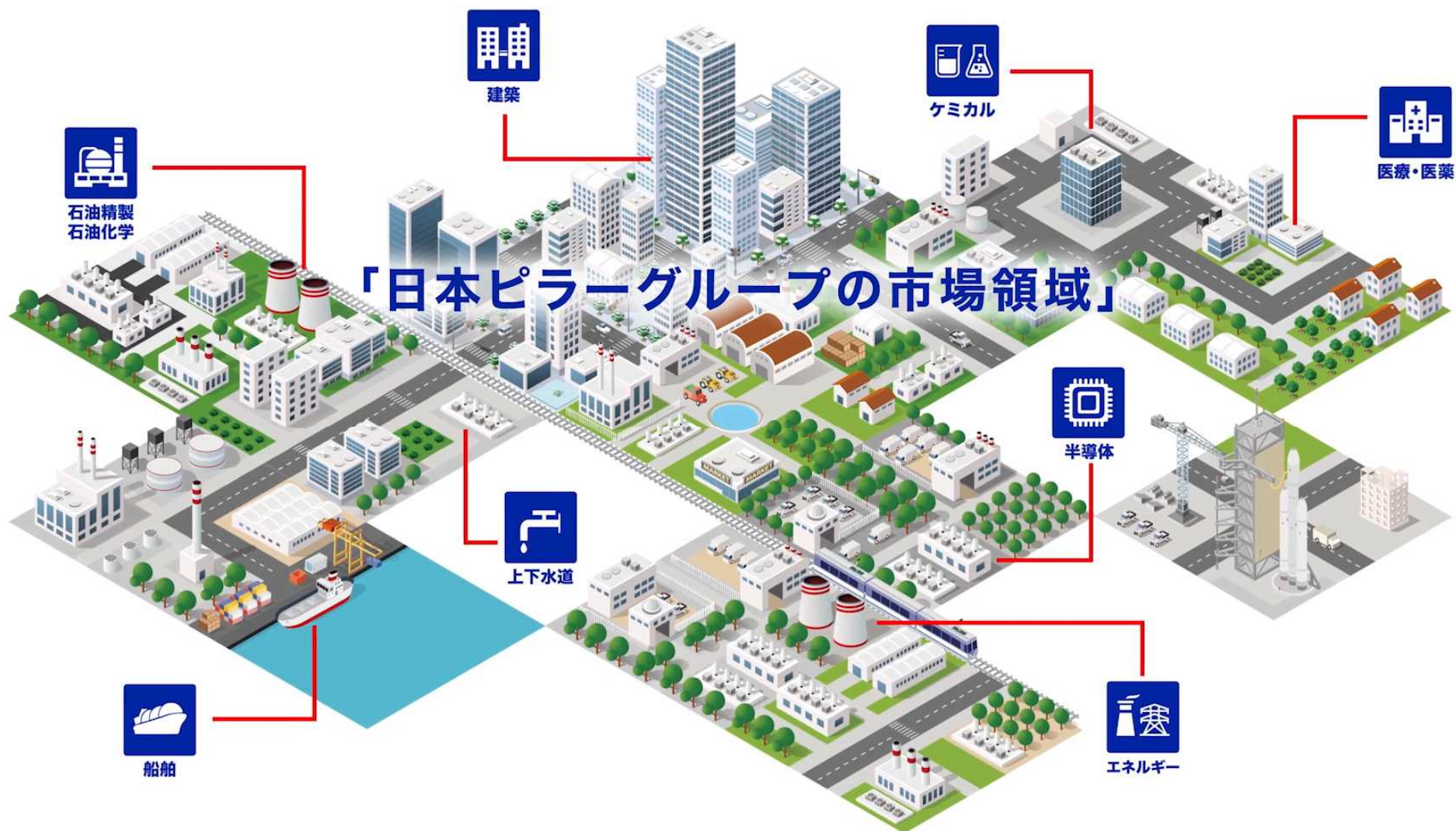
データ通信



医療

当社の市場領域

半導体・エネルギー・化学など様々な領域で、あらゆる流体を制御して、暮らしと環境の安心・安全に貢献しています





電子機器関連事業

(ピラフロン製品)

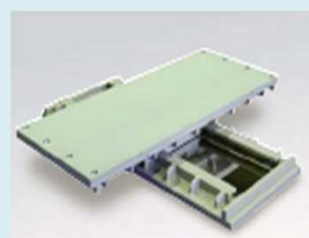
産業機器関連事業



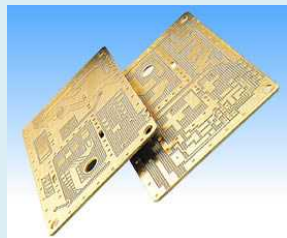
継手(フィッティング)



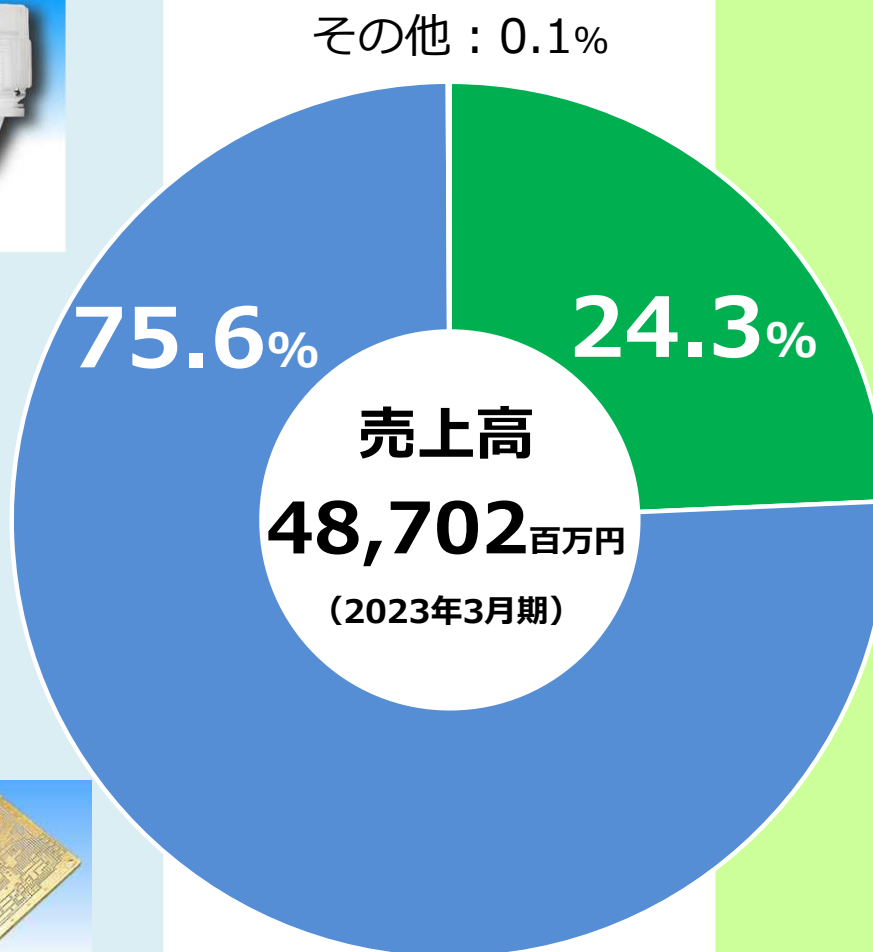
ヘローズポンプ



ユニット支承



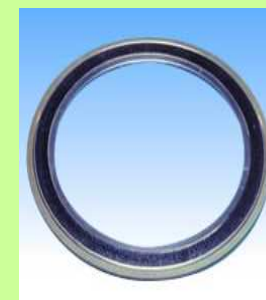
ふっ素樹脂基板



メカニカルシール



グラントパッキン



ガスケット

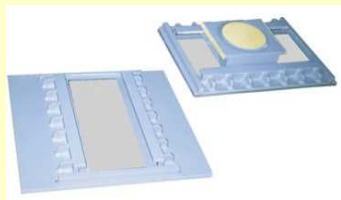
電子機器関連事業(ふっ素樹脂製品)の主な使用先・業界

ピラフロン

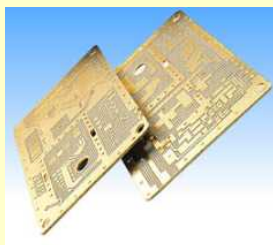
半導体・液晶分野



建築分野



通信分野



主な使用先



洗浄装置



塗布・現像装置



薬液供給装置



CMP装置

主な業界



半導体



液晶

主な使用先



ビル



連絡橋



渡り廊下

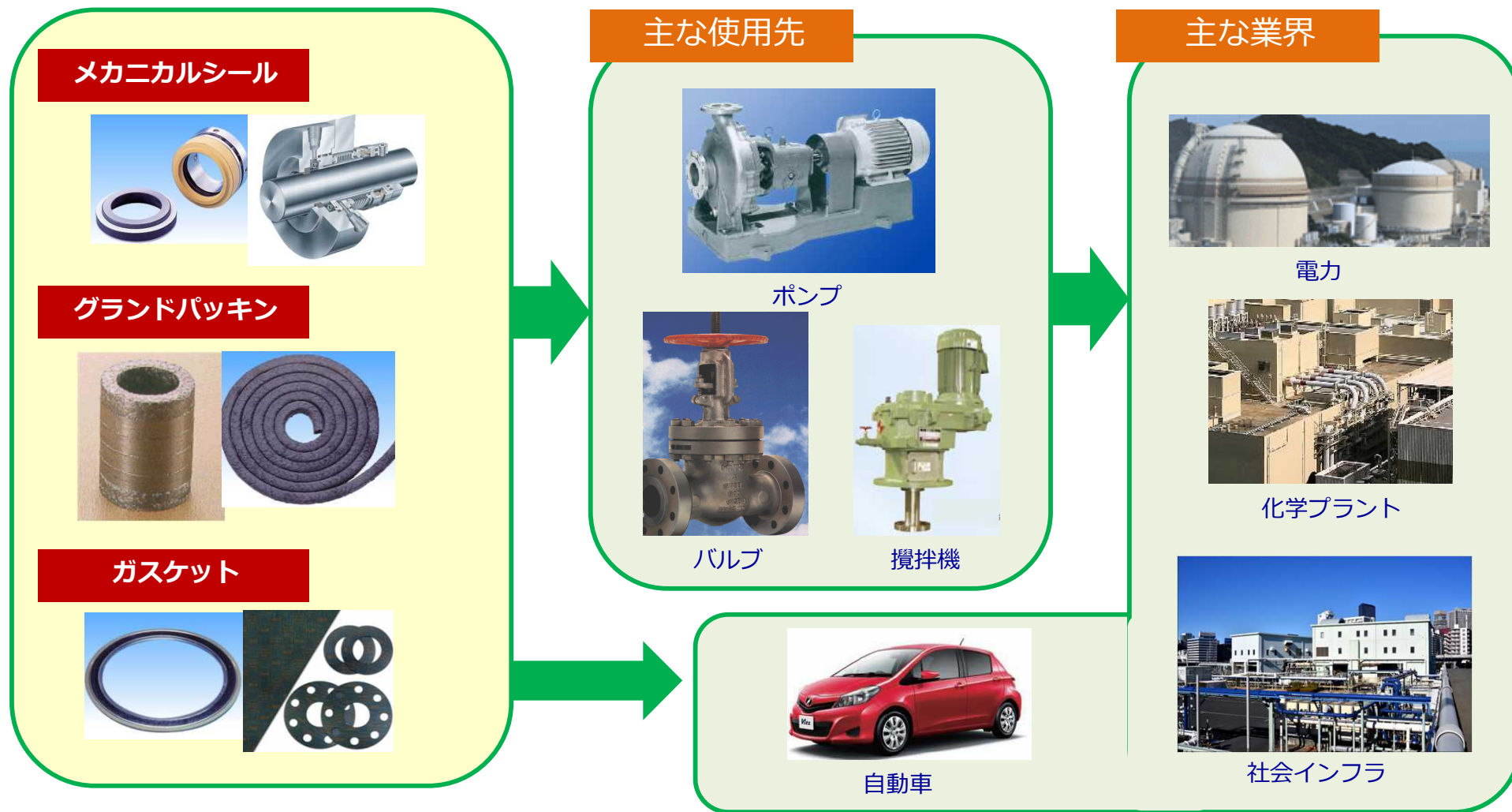
主な使用先



自動車

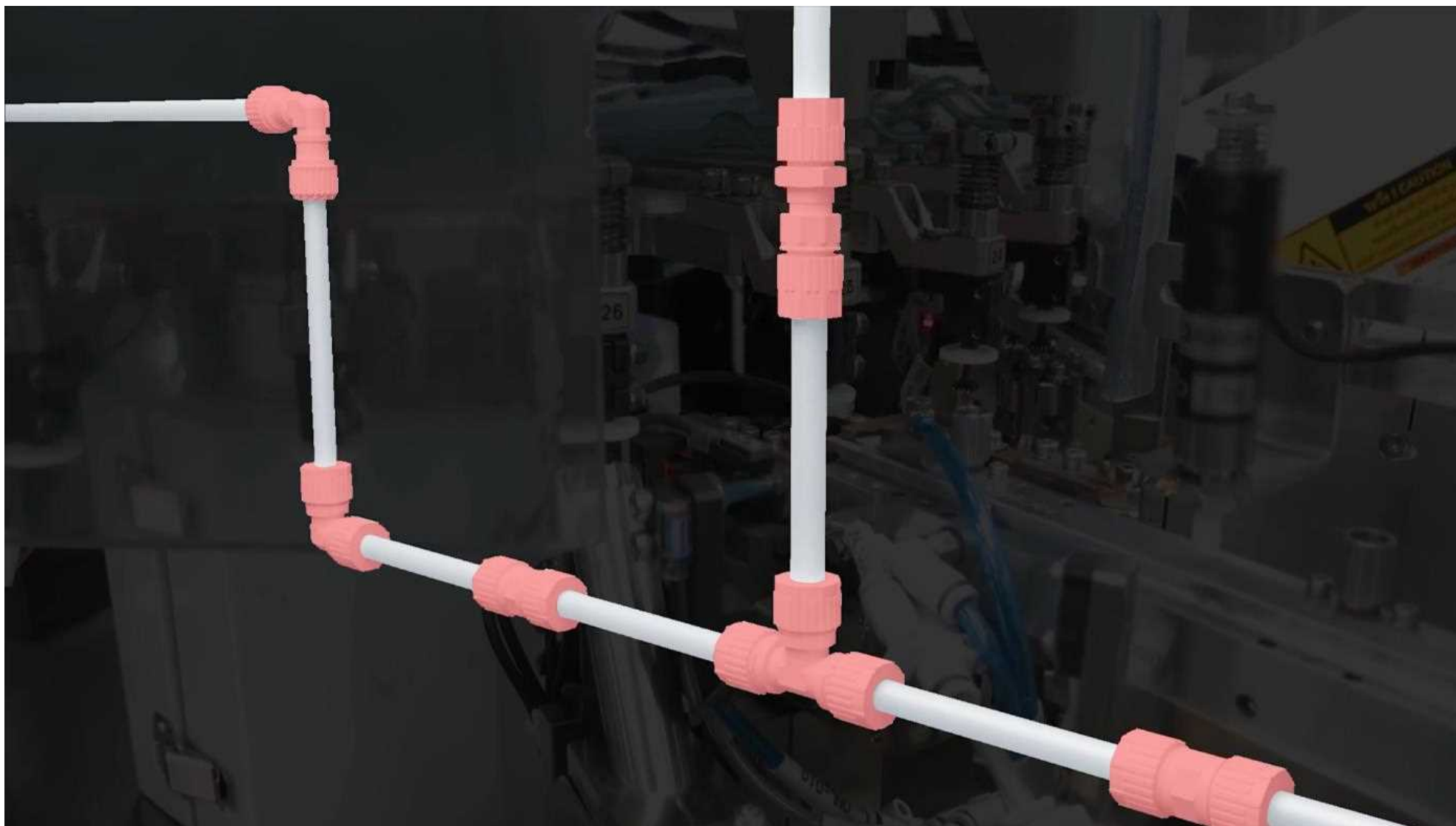


データセンター





製品紹介の動画をご覧ください



動画再生：製品紹介（7m36sec）

免震装置・すべり支承

建造物が受ける地震エネルギーを、建造物ごとすべらすことでエネルギーを吸収し、建造物の揺れを大幅に低減します。

アーケードの大屋根や半導体工場のほか、あべのハルカスなどの大規模施設にも使用されています。

大屋根



連絡橋



半導体工場



ふっ素樹脂基板

高周波特性を活かした低損失なアンテナ基板です。

データ通信が超高速大容量となる5G・6G時代の到来に向け、膨大なデータ量を扱うデータセンターや無線基地局、車載向けにふっ素樹脂基板を開発し、新規市場参入を目指しています。

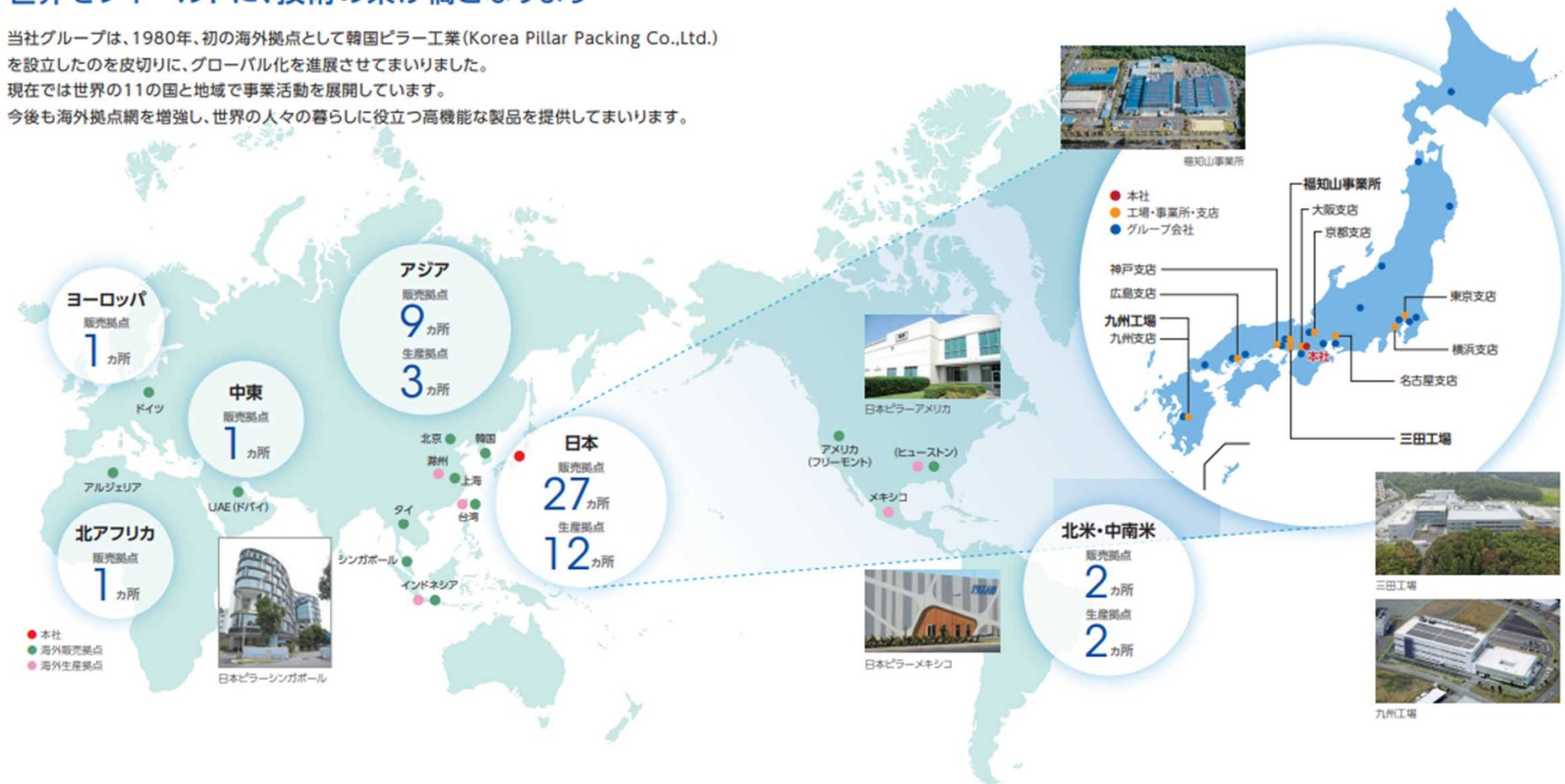
自動運転イメージ図



通行者や信号などの情報データを瞬時に、損失なく通信しなければならない。

世界をフィールドに、技術の架け橋となります

当社グループは、1980年、初の海外拠点として韓国ピラー工業(Korea Pillar Packing Co.,Ltd.)を設立したのを皮切りに、グローバル化を進展させてまいりました。
 現在では世界の11の国と地域で事業活動を展開しています。
 今後も海外拠点網を増強し、世界の人々の暮らしに役立つ高機能な製品を提供してまいります。

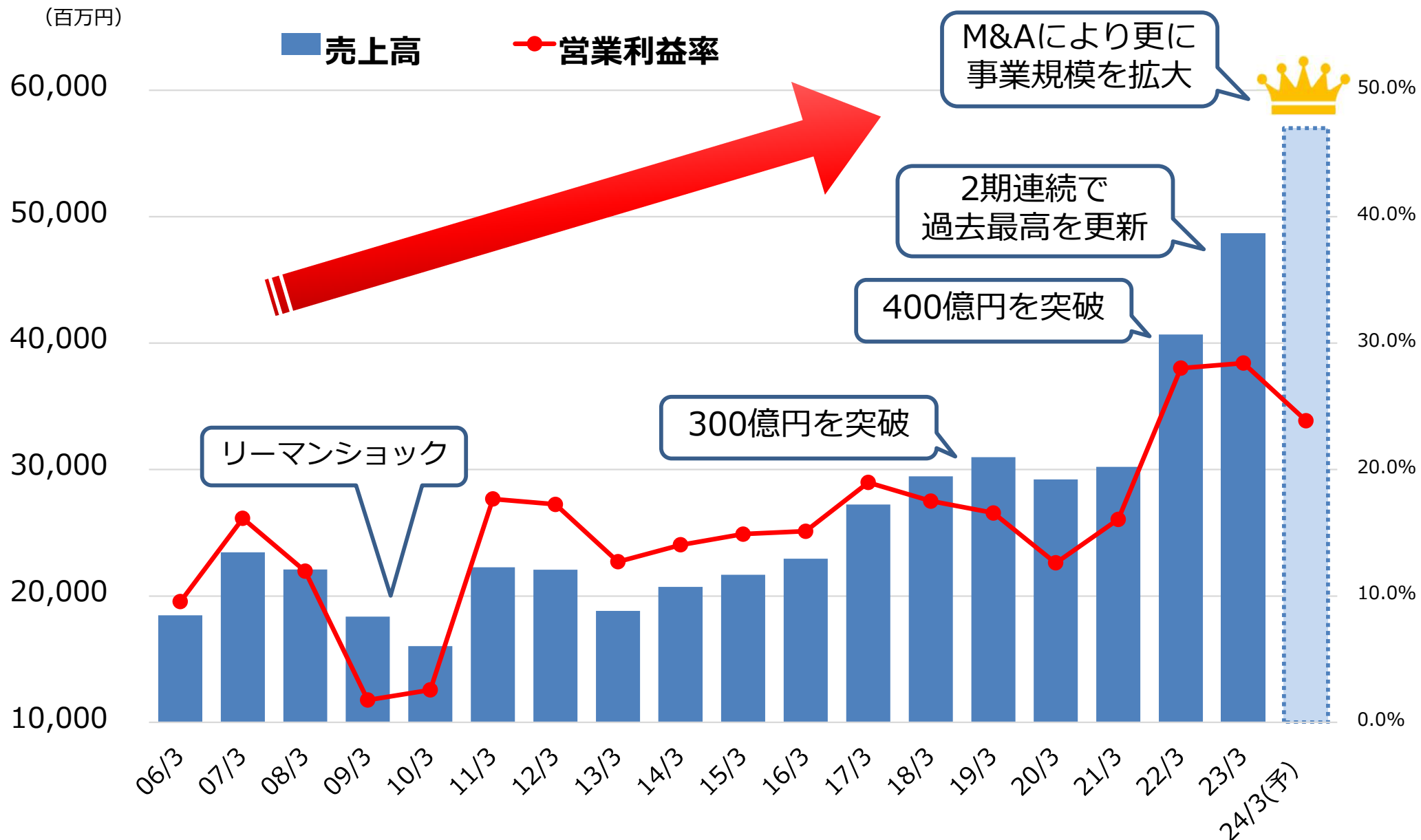


1. 日本ピラーってどんな会社？

2. **成長戦略（中期経営計画One2025）**

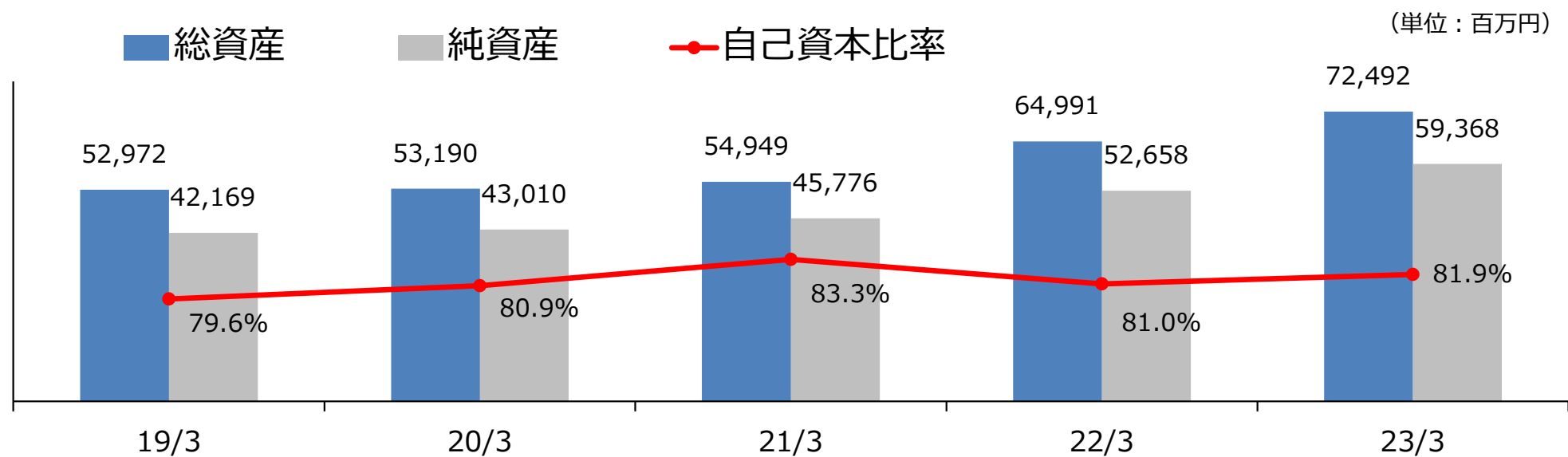
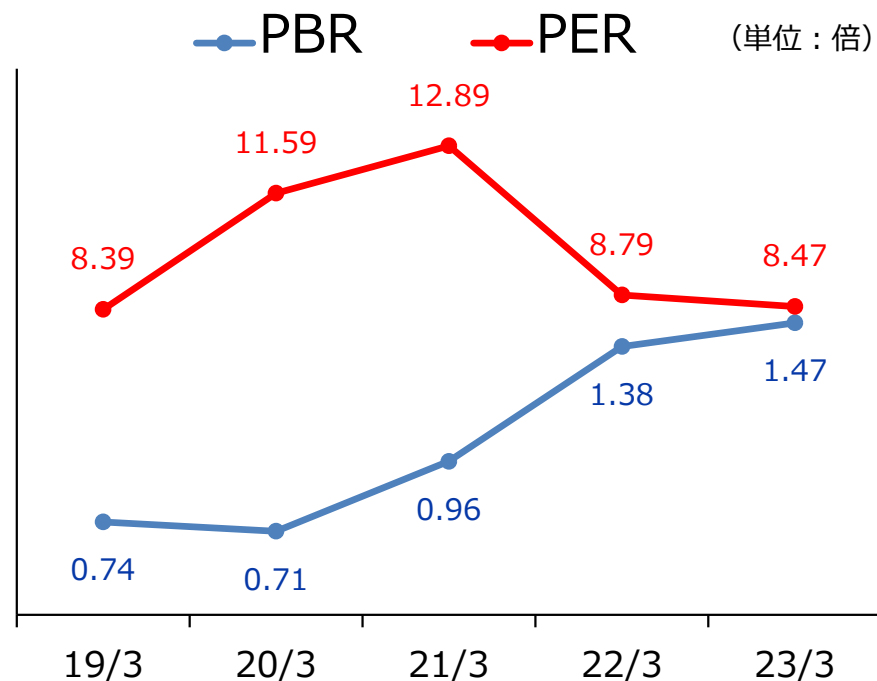
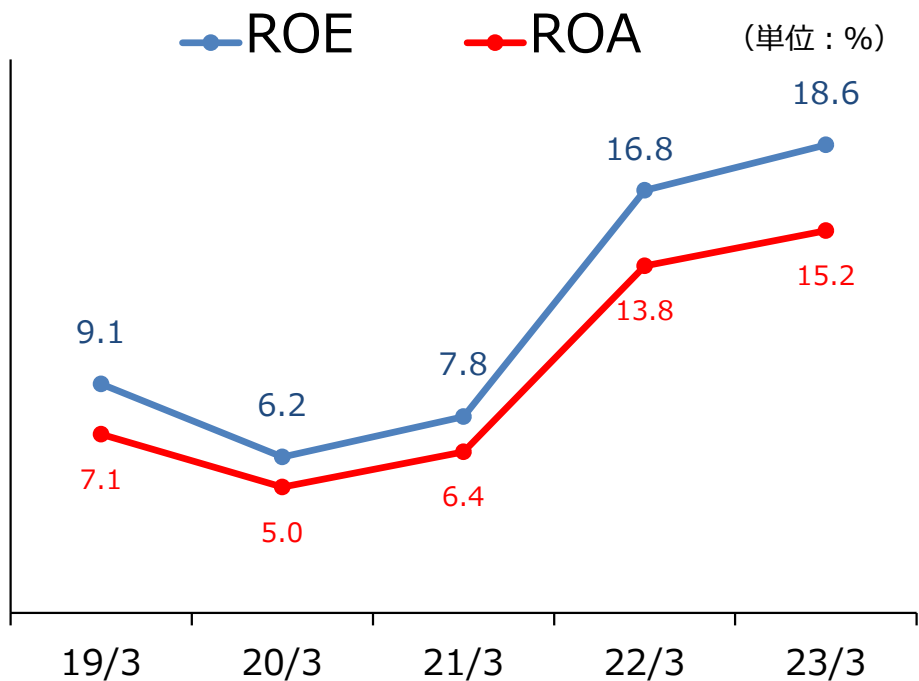
3. 株主還元

長期業績推移



安定的に売上高を拡大しつつ、高水準な利益率を維持

経営指標/財政状態推移





基本方針

① コア事業の進化

② グローバル競争力の強化

③ 新規事業基盤の創造

④ サステナブル経営の発展

⑤ 成長を支える財務戦略

最終年度
2025年度目標売上高 **660** 億円営業利益 **170** 億円ROE **10%**以上配当性向 **30%**以上成長投資 **250** 億円
(3力年累計)

電子機器関連事業

目指す姿

進化・成長し続ける**半導体市場**に対する高付加価値・
差別化製品の継続投入による**強固な事業基盤の構築**

Step 1

更なる競争力向上に
向けた基盤強化

- 福知山第2工場の稼働に伴う製品供給力の拡大
- 生産技術力の継続的向上による生産性向上、コスト競争力の強化
- 樹脂リサイクルの推進による環境対応力の強化

Step 2

既存市場・製品
の強化

- 滁州ピラーの生産機能拡大による、中国市場での市場シェアアップ
- 高付加価値商材の積極投入による欧米市場での半導体装置メーカー攻略

Step 3

新規事業の創出

- 次世代半導体市場や新たな概念において求められる新素材、新技術の開発と新商品の投入
- 部品製造に留まらない広範な流体制御技術を活用した事業領域の拡大
- ふっ素樹脂基板の機能拡大による新市場開拓

産業機器関連事業

目指す姿

“脱炭素”を中心とした社会課題から生まれる
新市場での圧倒的なグローバルシェアの獲得

Step 1
更なる競争力向上に
向けた基盤強化

- 開発・生産プロセスのデジタル化、プロセス改革により新製品開発のリードタイム短縮、生産効率向上を実現
- 修理拠点の機能拡充によるメンテナンス事業の拡大と収益性向上

Step 2
既存市場・製品
の強化

- 次世代半導体装置の厳しい要求に対応するメカニカルシール（RJ）の開発
- 国際規格試験をクリアしたグランドパッキン製品のグローバルシェア拡大

Step 3
新規事業の創出

- 次世代電池、水素、EV等の成長が期待される市場への積極的な製品投入
- タンケンシールセーコウとの技術シナジーによる新市場の創出
- エンジニアリング、サービス事業への更なる領域拡大による事業開発

2024年3月期業績予測・進捗

(単位：百万円)

連結業績	2022年度	2023年度			通期業績比	
	<実績>	通期予測	3Q累計	進捗率	増減額	増減率(%)
売上高	48,702	57,000	42,781	75.1%	8,298	17.0
営業利益	13,842	13,600	10,604	78.0%	-242	-1.7
営業利益率	28.4%	23.9%	24.8%	—	-4.6P	—
経常利益	14,136	14,200	11,218	79.0%	64	0.5
当期純利益	10,428	10,000	7,704	77.0%	-428	-4.1
一株当たり当期純利益(円)	442.99	429.10	330.62	—	-13.89	—
配当金(円/年)	133	149	—	—	16	—

セグメント別

電子機器関連事業						
売上高	36,819	40,000	30,017	75.0%	3,181	8.6
営業利益	11,759	11,000	8,582	78.0%	-759	-6.5
営業利益率	31.9%	27.5%	28.6%	—	-4.4P	—
産業機器関連事業						
売上高	11,844	17,000	12,733	74.9%	5,156	43.5
営業利益	2,059	2,600	2,001	77.0%	541	26.3
営業利益率	17.4%	15.3%	15.7%	—	-2.1P	—

- 半導体向け製品の更なる需要拡大を見据え、**生産能力の強化**を図り、**安定供給体制**を整える
- 自動倉庫など省人、省エネの設備導入により**生産性向上**、**コスト競争力**を強化
- 厳しい品質要求へ対応するべく、クリーンルームに最新の空気循環方法を採用するなどより一層の**品質向上**を図る
- ガラス張りの開放感のあるつくりで顧客来訪者へ**当社技術**を**魅せる**・PRする

所在地 京都府福知山市長田野町3丁目 17-6

工場延べ床面積 19,570㎡

主要生産品目 ふっ素樹脂製継手など

竣工日 2023年9月13日

生産開始日 2023年9月19日



新工場外観



自動倉庫イメージ図

① 三田イノベーションセンターを活用し開発スピードを加速

- 2023年10月26日竣工
- 多様な技術者の衆知結集による総合知の創出と活用
- 組織を横断した複合・融合・総合技術により卓越した製品開発力を強化
- 産官学連携強化による先端技術への取組み促進と新たなオープンイノベーションを推進



三田イノベーションセンター外観

② CDP気候変動2023 「B」スコアを獲得

- 昨年度から1ランクアップの「B」評価を獲得
- 中期経営計画「One2025」における環境目標の一つを達成
- 気候変動に関する取組みを経営の重要課題の一つと捉え、当社固有の「流体制御技術」を用いた製品を通じて環境への貢献に引き続き邁進

1. 日本ピラーってどんな会社？
2. 成長戦略（中期経営計画One2025）
3. **株主還元**

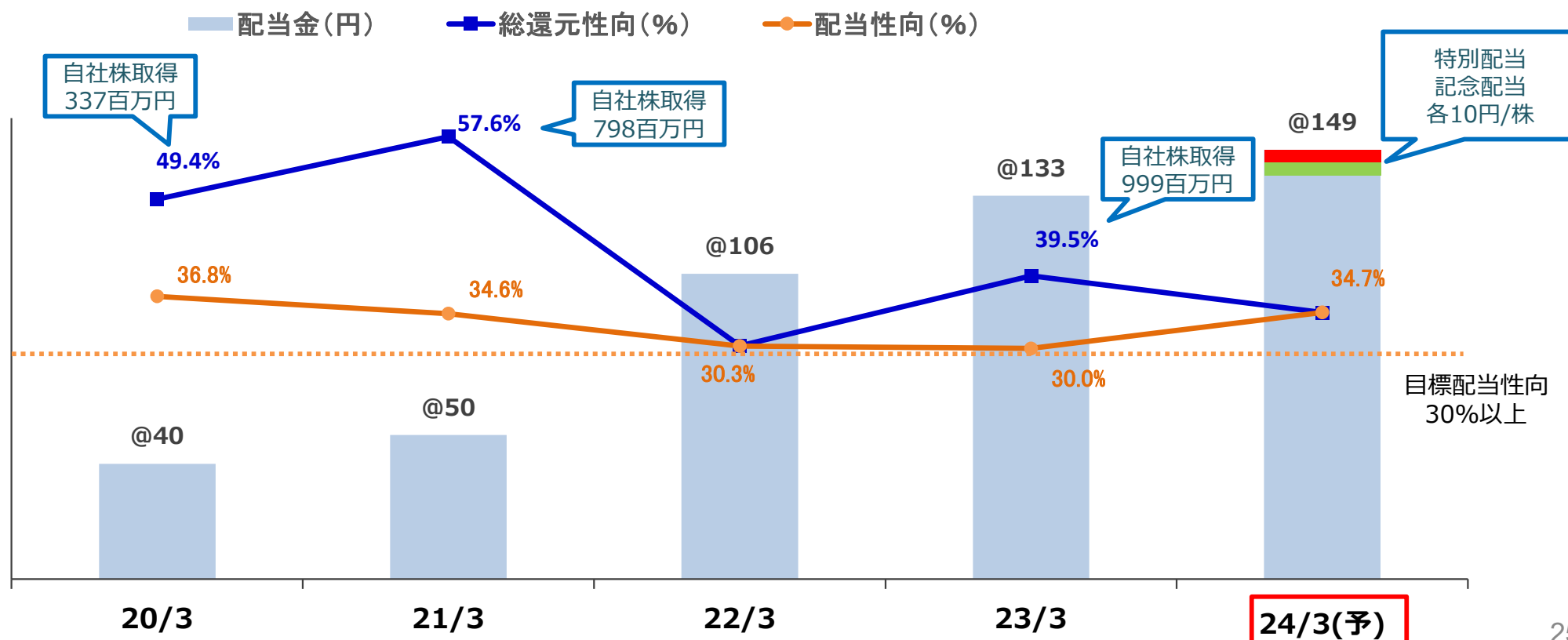


当社は、株主の皆様への利益還元を経営上の重要課題の一つとして位置付け、**安定的かつ継続的な配当**と配当水準の向上を努めることを基本方針としており、**配当性向30%以上**を目標に実施してまいります。

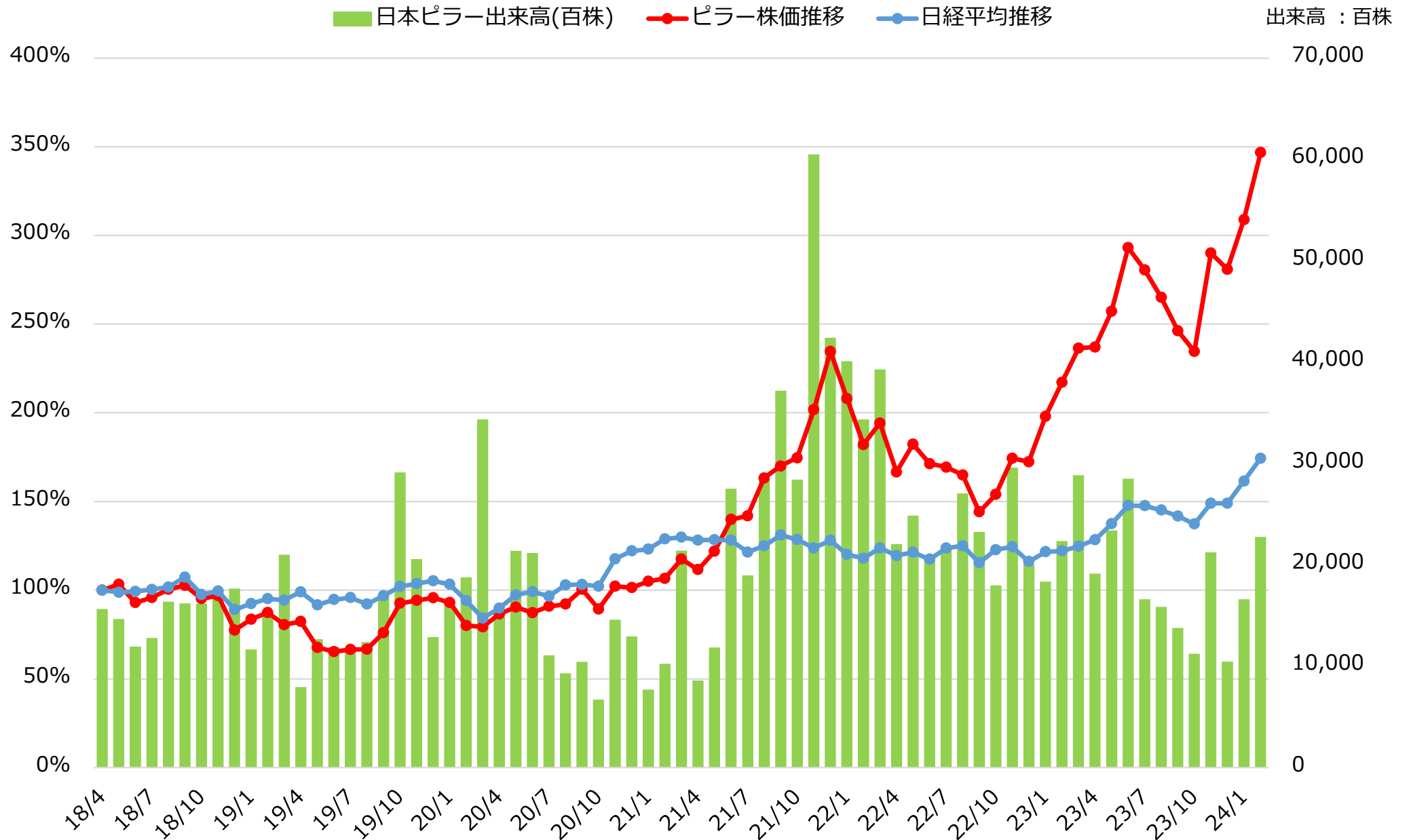
【2024年3月期 配当予想】

- ・ 年間：149円/株
- ・ 内訳：中間@60円、期末@89円（うち特別配当10円、100周年記念配当10円）

一株当たり配当金・配当性向・総還元性向

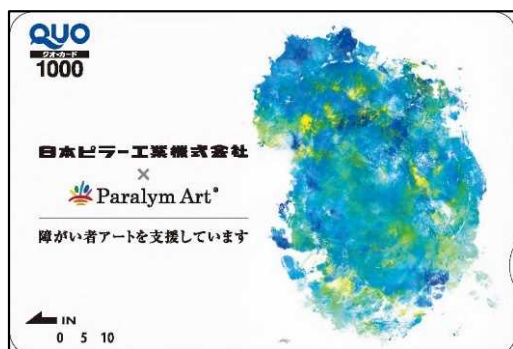


株価ファンチャート



一定の株式を保有していただいている株主様に感謝するとともに、より多くの株主様に当社株式を中長期的に保有していただくことを目的として、株主優待制度を導入しております。

オリジナルQUOカード進呈



優待情報誌にも掲載しています。



野村IR：当社優待サイト

保有株式数／継続保有期間	3年未満	3年以上
100株～500株未満	1,500円	2,000円
500株～1,000株未満	2,000円	3,000円
1,000株以上	3,000円	4,000円

(注)：保有年数3年以上とは、毎年3月末日及び9月末日現在の株主名簿に同一の株主番号が連続して7回以上記載または記録されていること

■ 100株を3年以上保有した場合

	金額
株価（2024/3/12終値）※1	5,540円
最低投資金額（100株）	554,000円
年間配当金（24.3期予定）	14,900円
株主優待（年1回/3年以上保有）※2	2,000円
年間配当金＋株主優待 （トータル利回り）	16,900円 (3.05%)

※1：2024年3月12日終値ベース

※2：3月31日時点の株主名簿に記載された1単元（100株）以上保有の株主様が対象

野村IRの企業情報サイトネットアイアールの「アイアールmagazine」コーナーにて「IRレポート」及び「トップの素顔」を掲載中。こちら是非ご覧ください！

<https://ir-magazine.net-ir.ne.jp/special/detail/id=10727>



IRレポート

創業100年を迎える世界シェア90%の成長企業
積み上げてきた会社力でさらなる躍進へ
2023年9月1日

6490 日本ピラー工業

さまざまな産業の生産現場を流体制御技術で支える日本ピラー工業。近年の世界的な半導体需要の急増により、その製造装置に欠かせない同社製品へのニーズも増大し、2023年3月期には過去最高業績を記録した。さらなる成長を目指し、新中期経営計画「One2025」(ワン zeroes ニーゴ)を推進中の同社代表取締役社長の岩波嘉信氏に、躍進

おすすめ記事
↑
トップの素顔

<https://ir-magazine.net-ir.ne.jp/sugao/detail/id=10726>



トップの素顔

海外経験で身につけた独立心を糧にして
2023年9月1日

6490 日本ピラー工業

日本ピラー工業株式会社
代表取締役社長
岩波 嘉信

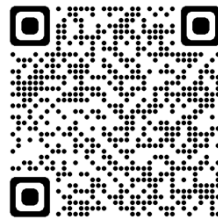
半導体洗浄装置向けの継手のメーカーとしてグローバルシェア90%*を誇り、直近の2期においては連続で過去最高業績を達成するなど、日本ピラー工業が好調だ。同社を率いるのが、創業家出身の4代目社長である岩波嘉信氏である。100年企業が積み重ねてきた技術力と営業力を活かしながら、さらなる成長のための改革を続ける岩波氏の半生

おすすめ記事
↑
IRレポート

ご清聴いただき、ありがとうございました。

当社WEBサイトのご案内

トップメッセージや中期経営計画、最新のIR資料、株式関連情報などを掲載しております。ぜひご覧ください。



<https://www.pillar.co.jp/ja/ir/>

会社・製品紹介動画のご案内

本日ご覧いただいた会社案内および製品紹介動画をご覧いただけます。



<https://www.pillar.co.jp/ja/about/movie/>

本資料について

- ・本資料には、将来の業績に関する予想、計画、見通しなどの記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。
- ・将来の業績は、主要市場の経済情報、製品需要の変動、為替相場の影響、国内外の各種規制、会計基準・慣行等の変更により、大幅に異なる可能性があることをご留意ください。
- ・本資料は情報の提供を目的として作成したものであり、本資料によって何らかの行動を勧誘するものではありません。

【IRに関するお問い合わせ先】

日本ピラー工業(株) 経営企画部

<https://www.pillar.jp/ja/inquiry/ir/>

